



高校野球のマナーとルールを学ぼう (第87回)



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えします。

マナー編 マナーの向上について

3月8日に対外試合が解禁になりました。いよいよ2018年のシーズンが始まりです。冬の間、厳しい練習で鍛えた技量を試合で存分に発揮してほしいと願っていますが、決められたマナーを守ることも大切になります。シーズン始めのこの機会に、試合において守るべき点を確認し、より一層マナーの向上に努めましょう。

高校野球を運営する上でのルールとして、**公認野球規則**、**アマチュア野球内規**、**高校野球特別規則**があり、その他に「大会運営上の留意事項」の中で、大会中に特に心掛けるべき事項がとりまとめられています。

春、夏の甲子園における大会のほか、各都道府県大会においても抽選会などを通じて徹底されている内容です。この留意事項では、マナーの向上について、9つの項目が記載されています。シーズン当初のこの時期に確認し、この春に新たに入部する部員への指導を行うほか、日頃の練習試合の機会から心掛けるようにしましょう。

【マナーの向上について】 ～高校野球審判の手引き（平成29年度）78ページ～

- ① 投手の準備投球時に打者や次打者などが打者席付近に近づき、タイミングを測る行為を止めさせる。
- ② 走者やベースコーチなどが、捕手のサインを見て打者にコースや球種を伝える行為および打者がベンチに投球のコースや球種を伝える行為を禁止する。もしこのような疑いがあるときは、審判員はタイムをかけ、当該選手と攻撃側ベンチに注意を与え、すぐに止めさせる。
- ③ ベースコーチが打者走者（走者）の触壘に合わせて【セーフ】のジェスチャおよびコールをする行為の禁止。
- ④ 本塁打を打った打者の出迎えはしない。
- ⑤ 喜びを誇示するような派手な「ガッツポーズ」等は相手チームへの不敬・侮辱につながりかねないので慎む。
- ⑥ 相手を中傷するような野次は止める。
- ⑦ グラウンドにつばを吐いたり、給水の残り水を捨てるような行為をしない。
- ⑧ 投手はロジンバッグを指先だけで使用し、丁寧に扱うこと。
- ⑨ ベンチ内へは、試合に必要なもの以外の持ち込みは禁止する。（例えば、携帯電話やラジオなど）

ルール編 2018年度の高知野球特別規則の改正

今年度の**高知野球特別規則の改正事項**について、紹介します。

- 「**タイブレーク制度**」については、次のとおりです。
 - 22 タイブレーク制度の採用
 - (1) 以下の大会でタイブレーク制度を採用する。
 - 硬式…春季・秋季都道府県大会、春季・秋季地区大会
 - 選抜高等学校野球大会、全国高等学校野球選手権大会（地方大会含む）
 - 軟式…春季・秋季都道府県大会、春季・秋季地区大会・全国高等学校軟式野球選手権大会（地方大会含む）

※今回の改正で、タイブレーク制度を採用する大会が拡充されています。
なお、春季・秋季地区大会とは、兵庫県の場合、「近畿地区大会」のことをいいます。
兵庫県下での地区大会は、すべての試合にタイブレーク制度を採用します。

(2) タイブレーク制度の運用は以下の通りとする。

▽タイブレーク規定

①タイブレーク導入開始回については、12回終了時に同点の場合13回からタイブレークを開始する。

※改正前は、主催者連盟が導入開始回について10回もしくは13回を選択することとされていましたが、
今回の改正で**13回から開始することに統一**されています。

②打順は、12回終了時の打順を引き継ぐものとする。(次回以降も前イニング終了時からの継続打順)

※改正前は、タイブレーク初回の攻撃を開始するにあたり打順を選択することができるものとされて
いましたが、今回の改正により**前イニングからの継続打順**となります。

③走者は、無死、一・二塁の状態から行うものとする。

この場合の2人の走者は、前項の先頭打者の前の打順のものが一塁走者、一塁走者の前の打順のものが二塁走者となる。

④タイブレークを開始する各イニングの前に、審判委員と両チームは各塁上の走者に誤りがなければ十分確認する。その後、守備側の選手交代およびポジション変更、攻撃側の代打および代走は認められる。

⑤タイブレーク開始後、降雨等でやむなく試合続行が不可能になった場合は引き分けとし、翌日以降に改めて再試合を行う。

⑥タイブレーク開始後、15回を終了し決着していない場合はそのまま試合を続行する。ただし、1人の投手が登板できるイニング数については15イニング以内を限度とする。

⑦**決勝はタイブレーク制度を採用しない。**

決勝での延長回は15回で打ち切り、翌日以降に改めて再試合を行う。

ただし、**決勝の再試合ではタイブレーク制度を採用する。**

※「明治神宮野球大会」と「国民体育大会（硬式・軟式とも）」では両大会のタイブレーク規定を採用する。

○ 2018年度公認野球規則の改正に伴う高校野球特別規則の制定は、次のとおりです。

27 申告故意四球の取り扱い

申告故意四球（投球せずに打者を一塁へ進めることができる）は、高校野球では採用しない。

(規則 定義 7)

28 反則投球の取り扱い

高校野球では反則投球の適用は、次のものとする。

(1) 投手がwindアップポジション (5.07(a)(1)) およびセットポジション (5.07(a)(2)) に規定された投球動作に違反して投球した場合 … 高校野球特別規則

(2) 投手が投手板に触れないで投げた打者への投球 … 定義 38

(3) クイックリターンピッチ … 定義 38

反則投球した場合は、その投球にボールを宣告する。ただし、安打、失策、四球、死球、その他で一塁に達した場合は除く。塁に走者がいる場合は、ボークである。

(規則 定義 38)

※ 2018年の公認野球規則の改正では、定義 38「イリーガルピッチ」（反則投球）から【注】が削除されましたが、この規則では、投球動作について、5.07(a)(1)および(2)で明確に定められています。

また、この項の中では、「**打者への投球に関連する動作を起こしたならば、途中で止めたり、変更をしたりしないで、その投球を完了しなければならない**」とされています。

振りかぶった腕を止めたり、上げた自由な足を止めたりしないで投球するように心掛けるとともに、ルールに則った“正しい投球動作”を身に付けましょう。

【付記】 今年、「高校野球審判の手引き」が発行されません。したがって、「高校野球特別規則」の改正点は連盟から配信された文書を参照してください。